

WORK FIELD

# プラントの先に広がる、大きな可能性

PROJECT

1



## 「いつも」と「もしも」で 地域を支える災害対策プラント

「今治市クリーンセンター」は、平常時は市民の憩いの場、災害時は防災拠点となるごみ処理施設。スポーツ活動や地域交流、環境フェスティバルなど各種イベントの場として活用され、年間2万人が訪れています。また、災害中であっても電気の供給や給水・排水設備によって、照明やトイレの利用、入浴、洗濯なども可能に。ジャパン・レジリエンス・アワード2019でグランプリを受賞した当施設は、「いつも」と「もしも」に寄り添い、地域の新しい価値を生み出しています。



PROJECT 電気・熱・CO<sub>2</sub>

2

## 3つのエネルギーを活用した バイオマスプラントで農場に貢献

タクマはプラントづくりを通して、農業の進歩も支えています。株式会社サラ様は「アジアにおける未来の野菜カンパニー」を目指されている企業。同社との共同実証実験により、燃焼ガスを浄化して質の高い二酸化炭素を供給するという世界初のシステムを実現しました。その結果、電気・熱・野菜の成長促進用の二酸化炭素という3つのエネルギーを供給する「バイオマストリジェネレーション」プラントが誕生。技術力と挑戦心が新しい価値創造につながったプロジェクトです。



### さらなる価値を届けるために



自社新工場・Supply Chain Lab



海外展開

### 高品質なものづくりから アフターフォローまで。

新工場とアフターサービス拠点を開設。再生可能エネルギーのさらなる利用拡大と多様化する顧客ニーズに 대응していきます。

### 国内だけでなく、世界へ。 インド・ベトナムの 環境問題へ挑む。

バガス(サトウキビの搾りかす)燃焼ボイラを通じてタイの製糖産業を支えてきたタクマ。海外の環境問題にも積極的に取り組んでいます。

プラントとは？  
ボイラや焼却炉、  
クレーンといった機器や  
装置がいくつも組み合わさって、  
ひとつの大きな性能を発揮する  
機械、設備のことです。

EDUCATION

# 教育制度 —プラントづくりは、人づくりから。—

## 1 現場で学び、理解が深まるOJT

新入社員は2カ月の集合研修を経て、配属先へ。先輩社員や上司の指導のもと、OJTで仕事に必要な技術やノウハウを習得していきます。



## 2モチベーションを 高める社員表彰制度

毎年6月10日の創立記念日に、業務や社会活動で活躍した社員、特定の勤続年数に達した社員などを対象に表彰しています。

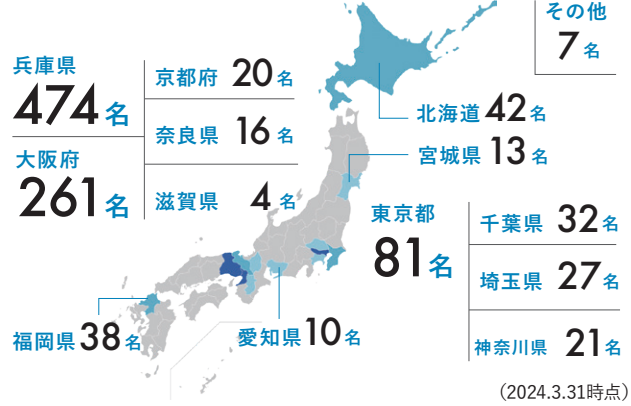


## 3 充実した資格取得支援制度

業務上必要な公的資格、免許に関する受験費用を支給。さらに、資格取得者に報奨金を贈るなど能力開発を積極的に支援しています。

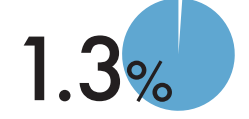


### ●居住地比率の図



### ●入社3年後離職率

長く活躍する社員が多いため、仕事の質も高まり、好循環が生まれています。



# Q&A

## Q 求める人物像は？

やる気があって、ハキハキと話ができる人です。職人さんやお客様などあらゆる人と関わる仕事ですので、人との関係をうまくつくれる方を求めています。

## Q どのような社風ですか？

若くても、責任のある仕事を任せる会社です。きちんと現場を納めていけば、周りがかちんと評価し、昇進や昇格につながっていきます。

## Q 施工管理職のやりがいとは？

何もない広大な土地から、巨大なプラントが完成するまでの業務に関われることです。仕事を成し遂げるたびに、大きな達成感を得られます。

## Q 新入社員の配属先はどのように決まりますか？

学生時代に学んできた知識や経験、本人の適性・能力等を考慮して総合的に判断します。

## Q 学歴によって有利・不利はありますか？

有利・不利はありません。学生時代の経験や研究内容、熱意を存分にアピールしてください。

## Q 社内での環境への配慮はありますか？

ノーネクタイや、空調設備の温度管理、省エネタイプの照明設備を導入するといった取り組みを行っています。



## 株式会社タクマ (TAKUMA CO., LTD.)

所在地 本社  
〒660-0806 兵庫県尼崎市金楽寺町2丁目2番33号  
TEL:06-6483-2777 FAX:06-6483-2755

事業内容 各種ボイラ、機械設備、公害防止プラント、  
環境設備プラント、冷暖房ならびに給排水衛生設備の設計、  
施工及び監理、土木建築、その他工事の設計、施工及び監理

代表者 取締役社長 南條 博昭

設立 1938年6月10日  
資本金 13,367百万円 (2024年3月31日現在)

売上高 [連結]149,166百万円  
[単体]91,616百万円 (2024.3.31時点)

従業員数 [連結]4,278人  
[単体]1,054人 (2024.3.31時点)

(2024.3.31時点)



プラントで、地球の課題に答えを出す。

# TAKUMA



# プラントで、地球の課題に答えを出す。

環境にやさしいかたちで廃棄物を処理したり、バイオマス燃料などの再生可能エネルギーで電気を生み出したり、水をきれいにしたり、いざという時は地域の防災拠点にも。タクマは、大規模かつ高性能なプラントづくりを通して環境やエネルギーの課題に答えを出しています。

## タクマのプラントソリューション

### 一般廃棄物処理プラント

ごみ処理における環境負荷を減らすため、再利用可能な資源ごみは選別・回収し、燃やすごみは、無害化技術で焼却。さらに、焼却で発生する熱エネルギーを利用して発電も行っています。

### 産業廃棄物処理プラント

有害物質を含むものや処理が困難なものが多い産業廃棄物。タクマは高度な焼却処理技術で安全な処理を可能にします。さらに、エネルギーを回収するプラントも実現し環境保全を支えています。

### エネルギープラント

温暖化防止につながる再生可能エネルギーとして、注目が集まるバイオマス。多種多様なバイオマス発電プラントを設計するとともに、農園へのCO<sub>2</sub>供給設備等の付加価値も提供しています。

### 水処理プラント

地球上にある水のうち、淡水はわずか3%、生活に使える水はその0.01%といわれています。そんな大切な水を守るため、水の清浄化に取り組みながら、装置の省エネ化にも挑んでいます。

## タクマの強み

ごみ処理分野の  
パイオニア



日本初の全連続機械式ごみ焼却プラントを完成させて以来、国内で最も一般廃棄物処理施設を建設してきました。

一品一様のフルオーダーメイド



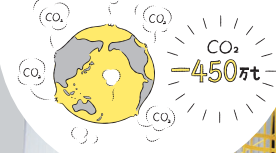
技術を大切にタクマ。コア技術であるボイラや、燃焼機も自社開発し、顧客の要望やごみの質に合わせた設計が可能です。

1,000人の少数精鋭部隊



社員数は、業界の中でも比較的少人数。だからこそ、個々が最大限に力を発揮できる環境がここにあります。

450万トンのCO<sub>2</sub>削減



一般産業廃棄物焼却プラントとバイオマス発電プラントを合わせたCO<sub>2</sub>削減量は年間450万トンにのびます。

## OUR POSSIBILITY プラント製造の司令塔

何もなかった広大な土地に、巨大なプラントが完成する。施工管理職にとって、これほど心踊る瞬間はありません。日々の業務管理や、先の方で見てきたスケジュール管理。そして、職人さんや、お客様、地域の方とコミュニケーションを重ねて、唯一無二のプラントを築いていく。大きなチャレンジが、ここであなたを待っています。

### プロジェクトの流れ



### 建設工事の仕事

巨大プラントを構成する機器の据付けや配管、電気工事などを行います。

#### 杭打ち工事 > 建設鉄骨建方 > ストーカ設置 > ボイラ組立工事 > ボイラドラム設置 > 蒸気タービン設置



掘削した穴に、施設の基本となる杭を打ち込みます。



焼却施設の鉄骨を組み立て作業を行います。



焼却施設の最重要機器である焼却炉のストーカを設置します。



焼却施設で、ボイラを組み立てていきます。



蒸気を溜めるボイラドラムを、ボイラの最頂部に設置します。



蒸気タービンを、コンクリート打設の済んだ室内に設置します。

#### ごみクレーン設置 > ごみクレーン設置 > 焼却炉試運転 > 竣工式



300トンクレーンを使用し、安全を考慮してごみクレーンを設置します。



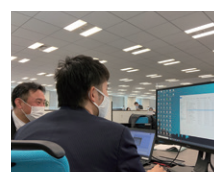
2つのクレーンゲータを、レールの上に降ろします。



焼却炉の試運転時に、ストーカの動きを確認します。



完成後は、建築物の末永い繁栄を祈願するために竣工式が行われます。



### 社内業務

工程表や機器の搬入計画書、品質管理計画書、見積仕様書などを作成し、発注業務も行います。

施工管理職とは？  
「現場監督」として工事現場を管理する仕事です。仕様の設計図どおりに現場を完成させていく重要なポジションです。

## 施工管理職の1日の流れ

08:00	08:30	10:00	12:00	12:30	13:00	15:00	17:00
朝礼	作業開始	休憩	昼食	職長と打合せ	作業再開	休憩	作業終了・帰宅
ラジオ体操からスタート。その後、当日の作業内容を通知します。	危険予知活動の声掛けを行い、それぞれの現場で作業を開始します。	熱中症対策のためにも休憩することは、施工管理職にとって重要な仕事の1つです。	ときには職人さんや上司と一緒にいただきます。	作業変更や翌日の作業予定について、各監督員及び職長と打合せをします。	作業に変更等があった場合、現場メンバーに伝えます。	作業の合間にリフレッシュ、ほっと一息つける瞬間です。	

## WORK IN LIFE

### 先輩社員の声



東京工事部 1課  
山田 聖也 2017年入社

### 数百人とコミュニケーションを重ね、誰よりも現場を知る人になる。

タクマは「少数精鋭」を掲げており、若いうちから責任をもって仕事に取り組みと考える入社しました。数百人が関わる現場を一か所ずつ巡回し、自分からいろいろの人に話しかけながら、仕事を覚えていきました。特に印象的だったのは、入社1年目にして経済産業省の認可に関わる試験の進行を任せられたことです。日頃から培ってきたコミュニケーションを活かして、早期に問題に対処して

いきました。現在は焼却施設・メタン発酵施設・リサイクル施設などの機能を併せ持つ複合プラントの現場に立っています。プラント製造に携わる醍醐味は、まだ何も無い広大な土地から、大きな施設が完成していく過程を目の当たりにできること。そんな現場を、いつか所長として指揮できるように、監理技術者やボイラに関する勉強にも励んでいます。

### タクマでも前例のない大規模発電プラント。あらゆる人と会話を重ねて、完成に導く。

巨大なプラントをたくさんの人と協力して作り上げることに魅力を感じ、タクマを志望。実際に大きな現場に携わるやりがいの大きさを感じながら、経験を重ねてきました。現在は、発電出力75MW（メガワット）という、タクマでも前例のない大規模プロジェクトを担当しています。一般的なプラントは6,000kW~7,000kWほどですが、その分、関わる職人の方や会社の数もより大きなものになります。

いくつもの会社に関わり合う中で、作業が円滑に進むよう、各担当者と綿密に打合せを重ねています。施工管理は何もない状況から関わることもできるため、完成したプラントを見た時は「やり切った」という達成感を得られます。前例のない大規模プラントに挑戦させてもらえる環境をいかして、いち早く所長を任せられるような人材になれるように成長していきたいです。



東京工事部 北海道工事課  
佐野 公亮 2016年入社



東京工事部 1課  
大森 洋良 2011年入社

### 現場経験を重ねるたび、全国各地に思い入れのある場所ができていく。

職人の方や施主様、地域の皆様、施工管理の仕事は多くの方々と関わることができ、さらにその方たちから直接「ありがとう」と言ってもらえる仕事です。印象に残っているのは、三重県の本質バイオマス発電施設。先手を打って複雑な工程を調整するとともに、問題が起こった際にも真摯に向き合い、改善策を話し合いました。竣工式で施主様に「次は大森さんにお願いしたい」と言ってもらい

受注につながった経験は、今も心の支えになっています。家族旅行の際、担当した現場まで車を走らせ、プラントを間近で見てもらえた時はとても誇らしかったです。現場経験を重ねるごとに、全国に思い入れのある場所ができていきます。現在、副所長として現場に立ち、自分が施主や地域の住民だしたら、どんなプラントが欲しいかを考えながら、喜んでもらえる仕事を目指し続けています。